

2010年度決算特別委員会

決算特別委員会の局別審査では、各会派の発言順序が毎日変わります。最初は、所属人数の多い順（自民、民主、公明、みんな、共産、ネット・無所属クラブ、ヨコハマ会）ですが、2日目は民主から、3日目は公明からと、発言順序が上がってきます。10月6日7日は、公明党から始まり、日本共産党は3番目の発言となります。

みなさんの直接傍聴が議員を勇気づけます。多くの方の傍聴をお待ちしております。

10月6日(木) 「港湾局」白井まさ子議員

○埋立事業会計について

「こども青少年局」白井まさ子議員

○児童虐待対策について

○廃園となった保育所の保育運営費の処理について

**10月7日(金) 「政策局」あらき由美子議員**

○池子米軍家族住宅建設問題について

○横浜市大病院の経営問題について

○交通不便地域の解消について

「交通局」あらき由美子議員

○生活交通バス路線について

○地下鉄の安全対策について



10月11日(火) 「健康福祉局」古谷やすひこ議員

10月12日(水) 「温暖化・環境創造局」岩崎ひろし議員

10月13日(木) 「建築局」白井まさ子議員、「教育委員会」古谷やすひこ議員

10月14日(金) 「総務局」岩崎ひろし議員

10月18日(火) 採決（第一委員会は午後2時、第二委員会は午後3時開会）

※開会時刻は、10月18日をのぞいて毎日午前10時です。

日本共産党議員の発言時刻については党市議団事務局にお問い合わせください。

党市議団要求の放射能対策が実現に！

○横浜市は、10月から市立小学校の給食について、全344校を対象に、順番に毎日一校ずつ給食食材10数種類すべてを前日に抜き取り、放射性物質濃度を測定することにしました。

○林市長は30日、政府に対し、放射性物質が検出された下水道汚泥焼却灰について、国の責任

でその最終処分場を確保するなどの対応を求めました。

これらはいずれも、党市議団が市長に対して行った放射能対策についての緊急申し入れに沿ったものです。